



学校だより 7月号 JUL

平成30年6月29日発行

ふるさとに学び ふるさとで遊び ふるさとを愛する子 ～ふれあい かがやき 豊かな心～

言葉

ヒマワリの花を、まちのあちこち
らで見かけるようになりました。夏の
到来も間近です。

6月15日には、授業参観・懇談会・
学校説明会そしてPTA総会に、多く
の保護者の皆様がご来校くださいまし
た。ありがとうございました。子ども
たちの学習の様子、授業の進め方、懇
談会や説明会の内容は、如何だったで
しょうか。お気付きの点、疑問な点な
どございましたらお伝えいただくと
有り難く存じます。

また、7月には、子どもたちの一学期
の振り返りと夏休み以降の課題を、保
護者の皆様と共有させていただくため
に、個人面談を予定しております。ご
多用とは存じますが、ご協力のほど、
よろしくお願いいたします。

本校では今年度も、国語科の授業を
重点として授業力向上の研究を進めて
おります。ある日の研究会で、低学年
の授業の中で使われていた「すごい」
という言葉について、職員がディスカ
ッションしていました。お話の中の自
分が特に気に入った部分を紹介し合う
学習活動で、「どうしてその部分を気に
入ったのか」「友だちの気に入った部分
について自分は思うか」などを、

学校長 小倉 早苗
伝え合うために使われていた言葉の一
つに「すごい」という言葉がありまし
た。「すごい」という言葉は、日常生
活の様々な場面でよく使われます。子
どもたちは、どちらかという、「素晴ら
しい」とか「さすが」など、プラスのイ
メージで使っていることが多いように
思います。しかしこの言葉には、「非常
に」とか「恐ろしくて、ぞっとするよ
うな感じだ。」などの意味があるのです。
いずれにしる、「すごい」は形容詞です
ので、「すごい暑い」という使われ方は、
形容詞が連続して使われてしまうため
正しくなく、「すごく暑い」というふう
に副詞として使うこととなります。子
どもたちが使っていた「すごい」は、つ
きつめるとどういう意味だったのでし
ょうか…。そのことを考えるうちに、
「すごく〇〇〇」と、ていねいに言葉
を伝え合うことが大切であり、それは
まず、大人が範となって日常の中で示
していくことが必要であるというこ
とを改めて確認しました。

子どもたちが、感じたことや考えた
ことを、正しくていねいに伝え合う力
を高められるよう、言葉を大切に
した指導を行っていきたいと思
います。

今月も皆様の変わらぬご支援・ご協
力のほど、宜しく願い申し上げます。

交通安全教室

6月13日、1年生と4年生の子どもたちを対象に、交通安全教室が行われました。青葉警察署の方、青葉交通安全協会の方々、青葉交通安全母の会の方々、そしてPTA校外委員会や役員の方々、保護者ボランティアの方々にご指導ご支援いただき、1年生は道路の安全な歩き方について、4年生は自転車の正しい乗り方について、それぞれ体験を通して教えていただきました。横断歩道の渡り方、信号の意味、車が道路に停車されている時の注意等、一つ一つ具体的に、しっかりご指導いただきました。「道路を渡る時は、手を挙げて右を見て、左を見て、もう一度右を見て、車が来ないかよく気をつけて渡りましょう。」「自転車で発進する時は、車が来ないかどうか、もう一度周りをよく見て安全確認をしてください。」等、自分たちの安全を守るための交通ルールや注意点について、みんな一生懸命に学習しました。



開港記念式

6月2日は、横浜市の開港記念日です。前日の1日に、開港記念式を行いました。今年も4年生が、横浜の開港についての発表を行いました。特に今年、横浜市歌の歌詞の意味・開港当時の様子・開港による生活の変化についてをテーマとして発表しました。4年生は、この日の発表に向けて、副読本である『わたしたちの横浜』などの資料を使って、1年生から6年生までの全校のみんなに向けてわかりやすく、しかも楽しく伝えるように、劇やクイズを取り入れたり、小道具などを工夫したりして、とてもチームワークよく頑張りました。



よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト



6月26日、青葉公会堂で、よこはま子ども国際平和スピーチコンテストが開催されました。平成8年度より行われているこの大会は、自分の経験や体験をいかして「国際平和のために、今自分がやりたいこと」について具体的な夢や目標をスピーチし合うコンテストです。青葉区31校の代表児童が、自分の思いを伝え合いました。

本校では、6年生全員がスピーチの原稿を作成し、テーマについての自分の考えをまとめました。代表として井尻有紀さんが、「個性を認め合える世界へ」というタイトルのスピーチを立派に発表しました。前日には、全校のみんなの前でもスピーチを行い、「一人ひとりがお互いの個性を認め合い、支え合い協力し合って、みんなが笑顔で過ごせるように」という主旨のメッセージをしっかりと伝えました。

第1回学校運営協議会報告

6月1日に今年度第1回目の学校運営協議会を開催いたしました。運営協議会のメンバーは、飯島文夫会長（中里北部連合町内会顧問）、板垣隆士副会長（元横浜市公立小学校長・学校支援ボランティア）、大曾根孝一委員（中里北部連合町内会副会長）、齋藤世二委員（よこはま緑の推進団体青葉区連絡会会長・中里北部地区民生委員児童委員地区会長）、村尾周三江委員（明日の株式会社代表）、高橋一之委員（学校支援ボランティア）、黒木まち子委員（学校・地域コーディネーター）、星谷和美委員（学校・地域コーディネーター）、三浦明美委員（はまっ子ふれあいスクールチーフパートナー）、藤森剛委員（PTA会長）、立川美矢子委員（PTA副会長）、小倉早苗委員（校長）です。また、事務局として、石橋恵PTA副会長、菊原政臣副校長、武井三也主幹教諭、宮前忠司主幹教諭、飯野淳子主幹教諭、宇佐美将司主幹教諭、金井伸一教諭も参加しています。

まず初めに、横浜市教育委員会の伊藤邦彦主任指導主事と飯島会長からのご挨拶をいただきました。続いて、本年度の主な取り組みについて、各担当者がご説明をさせていただきました。

- ・中期学校経営方針3か年計画の最終年であるので、振り返りを丁寧に行いつつ目標達成ができるよう進めていく。
- ・平成32年度からスタートする新学習指導要領に向けての準備を進めている。
- ・本校は地域の方々や、地域の材との結びつきが強く、教育目標である「ふるさとに学び、ふるさとで遊び、ふるさとを愛する鴨志田緑の子」を継続していきたい。また、KFT（かもの子ふれあいタイム・縦割り活動）も大切にしていきたい。
- ・学力向上アクションプランについては、昨年度に引き続き、伝え合うこと・コミュニケーション力の育成を重点としている。
- ・豊かな心育成プランでは、道徳や体験学習の充実にも力を入れて取り組んでいる。「言葉で伝える」力の育成を図る。
- ・体力健康プランでは、今年も長縄やマラソンを中心に体力を高める。オリンピック・パラリンピック推進校に選定されている。
- ・特別支援教育の充実については、特別支援教室による細やかな支援の実施や、教室環境のユニバーサル化を進めている。
- ・地域連携が、児童の主体的な取り組みの中で深まっている。防災・安全面については、自分のことを自分で守るという意識を向上させるために、めあての確認とそれについての振り返りを丁寧に行っている。

委員の方々からは、職員の働き方改革に関連してのご意見、地域連携の重要性、学校行事を通しての児童の粘り強い取り組みの育成など、貴重なご意見をいただきました。

工事について

現在、特別教室エアコン設置の工事を行っております。また7月より、エレベーター設置の工事も開始されます。さらに、地域防災拠点における飲料水確保のための耐震給水栓整備の工事も行われます。いずれにつきましても、子どもたちの安全確保には十分留意しながら進めることを確認しております。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

お知らせ

3・5・6年生の図工専科の佐藤美智子非常勤講師が、都合により5月末で退職いたしました。後任として、川浪由理非常勤講師が着任いたしましたので、お知らせいたします。よろしくお願いいたします。